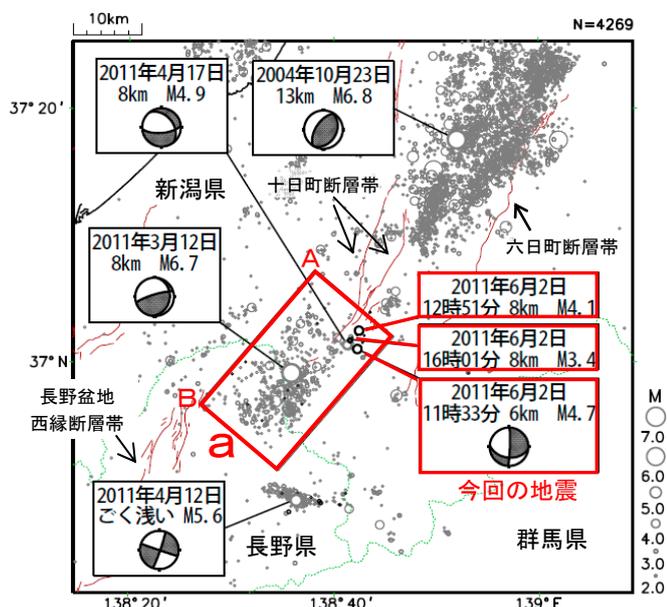


## 6月2日 新潟県中越地方の地震

震央分布図（1997年10月1日～2011年6月30日、  
深さ0～40km、 $M \geq 2.0$ ）

2011年6月以降の地震を濃く表示。

細線で地震調査研究推進本部による主要活断層帯を表示。

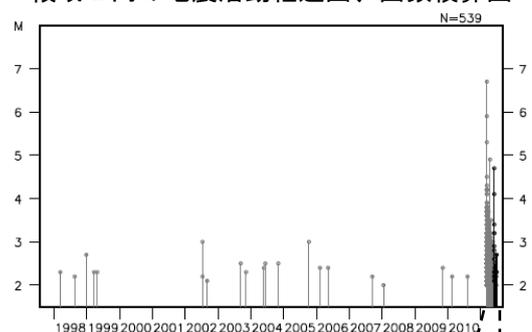


2011年6月2日11時33分に新潟県中越地方の深さ6kmでM4.7の地震（最大震度5強）が発生した。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ型で、地殻内で発生した地震である。最大震度4を観測する余震が2回発生している。

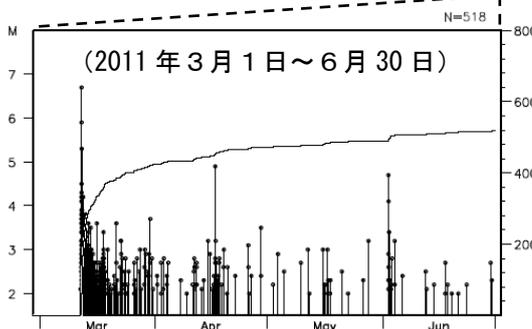
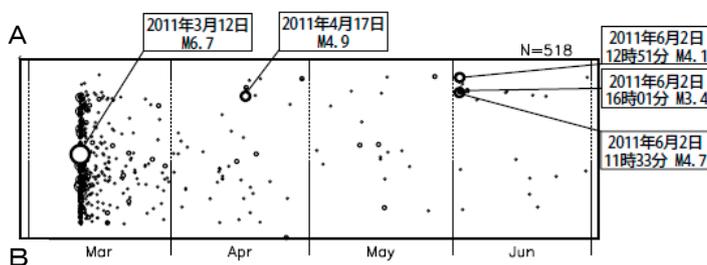
今回の地震の震源付近（領域a）では、3月12日に発生したM6.7の地震（最大震度6強）以降、地震活動が活発となっており、今回の地震もその余震であると考えられる。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域a）では、M5.0以上の地震は発生していなかった。

領域a内の地震活動経過図、回数積算図

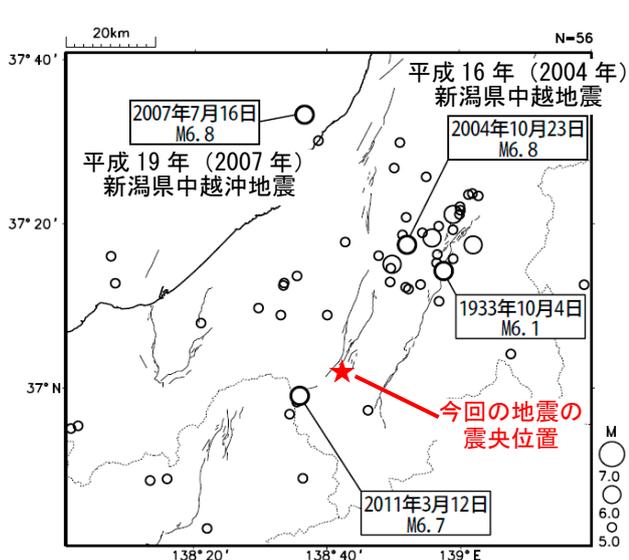


領域a内の時空間分布図 (A-B投影)  
(2011年3月1日～6月30日)



震央分布図（1923年8月1日～2011年6月30日、  
深さ0～40km、 $M \geq 5.0$ ）

細線で地震調査研究推進本部による主要活断層帯を表示。



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、2004年10月23日に「平成16年(2004年)新潟県中越地震」(M6.8、最大震度7)が、2007年7月16日に「平成19年(2007年)新潟県中越沖地震」(M6.8、最大震度6強)が発生している。

左図内の地震活動経過図

